

2026年度インターンシップ受入テーマ一覧票/FY2026 Internship Items to be assigned

◆実習は日本語で行います/Internship themes listed will use Japanese as working language.

J-7とJ-17は英語でも対応可能です/English is also available as a working language for themes J-7 and J-17.

No.	受入可能部署名	実習実施場所	課題・テーマ（案）	受入可能人数	受入条件			実習日数 (休日除く)	実習期間		実習時間	実習日の調整	実習概要	備考
					専攻学科等	学年	その他		開始日	終了日				
No.	Dept. in charge	Filed centers	Theme	student capacity	Major	Academic year	others	Training days	Training period		Training hours	Flexible training start/end date	Program Overview	Other information you should know
J-1	経営企画部	御茶ノ水	JAXAの「事業計画」の検討・調整に関する業務	2 (最大)	指定なし	大学3年以上	特になし	5	8月～9月で調整		9:30～16:00	可	経営企画部は、JAXA全体にわたる各事業分野の事業計画を集約し、その検討・調整や対外説明を担う部署である。本インターンシップでは、職員と連携しながら、これらの業務に関連する資料作成や情報整理、分析作業などに取り組んでいただく。このインターンシップを通じて、特定分野に依らない、JAXA全体の業務を理解することに繋がるかと期待する。インターンシップの実施時期に応じて、その時点で扱う情報・文書等が変わり得るため、募集時点では業務対象を特定できないが、参加者との対話を通じて“学び”に適するタスクを見出す予定。	
J-2	研究開発部門 研究推進部 角田管理課	角田	角田宇宙センター広報/宇宙教育活動の検討及び実施	5	指定なし	大学2年以上	特になし	8	8月3日	8月11日	9:30～17:45	不可	地域との連携を深める観点での広報・宇宙教育の取り組みについて学ぶ。得た知見をもとに、より効果的な広報・宇宙教育の実施方法やツール等の検討及びプレゼンを行う。	以下の日程についても実習予定日である旨補足する。 ・8月8日（土） ・8月11日（火祝）
J-3	航空技術部門 航空環境適合イノベーションハブ 環境適合機体技術チーム	調布（分室）	リブレットによる表面摩擦抵抗低減の研究	1	機械/航空系(工学専攻系)	修士1年以上	実験データの解析のために、MATLABプログラミングやOfficeソフトの経験が必要	10	8月31日	9月11日	10：00～17：30	可	表面摩擦抵抗を低減させるリブレットの研究において、JAXA風洞試験のデータ解析（計測済み）を通じて、乱流れ場の研究の体験をする	JAXA風洞試験期間とタイミングが合った場合に限り、風洞試験を体験する
J-4	宇宙輸送技術部門 鹿児島宇宙センター	種子島	種子島宇宙センターにおける将来射場構想（広報・地域連携を含む）	4	指定なし	大学1年以上 高専4年以上	特になし	7	8月～9月		9:30～17:45	可	ロケット打上げの高頻度化や将来宇宙輸送ニーズを想定しつつ、種子島宇宙センターの射場について、JAXA職員への聞き取り、設備見学、国内外事例の調査を行いながら自由な発想で将来射場構想（広報・地域連携手法を含む）を検討し、提案する。	・実習期間は参加予定者と調整のうえ決定します。 ・運転免許をお持ちの場合は、履歴書の「趣味・特技」欄に運転免許保持の旨をご記載ください。 なお、本インターンシップの応募条件として運転免許は必須ではありません。
J-5	宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系	相模原	最新天文観測衛星の公開データを用いた観測性能向上と機器異常検知を行う研究	4	指定なし	大学1年以上	Python によるプログラムの経験が望ましい	5	8月24日	8月28日	9:30～17:45	可	JAXAの最新科学衛星の公開データを用いた実習を行います。XRISM衛星は、2023年9月にHIIAロケット47号機にて種子島から打ち上げられた宇宙X線望遠鏡衛星です。我々がNASA 等と共同開発したX線精密分光器が搭載され、それを用いた数々の観測成果が上がっています。このインターンでは、同衛星の打ち上げ以降の軌道上テレメトリデータを用い、データサイエンス的手法に基づいて（1）観測性能のさらなる向上と（2）装置異常の検知を行うアルゴリズムを開発することを目標にします。	大学院生として相模原キャンパスで衛星開発や宇宙物理学・天文学の研究ができます。そのような道路の参考になるよう、実際の大学院生の研究に即した内容の実習に予定予定です。日時の設定は柔軟にできます。
J-6	宇宙科学研究所 科学衛星運用・データ利用ユニット	相模原	宇宙科学研究所の科学衛星・探査機が取得した科学データ利用の体験	2	指定無し	大学3年～ 高専4年～	プログラミングの基礎的な知識が必要。	10	8月3日	9月30日	9:30～17:45	可	Pythonなどのプログラミング言語を用いて、まずは宇宙科学研究所のデータアーカイブ DARTS（https://darts.isas.jaxa.jp/）で公開されている科学データの利用方法を習得する。その後、参加者の興味や保有するスキルセットに応じて相談のうえ、個別の具体的なテーマを決定し、科学データを活用した研究開発や制作を体験する。テーマは、専門的な科学研究や実用的なWebアプリケーション開発にとどまらず、デザインやアート作品など幅広い領域を想定している。	日程は夏休み期間中の連続する10日間(平日)を原則とする。全員が揃う日程が確保できない場合は、合計10日間は維持しつつ、各自の参加日数になるべく均等になるよう調整して日程を決める。
J-7	宇宙科学研究所 宇宙物理学研究系 Institute of Space and Astronautical Science, Department of Astrophysics	相模原 Sagamihara	宇宙科学研究所が公開する天文衛星データアーカイブの検証と利用性向上 Verification and usability enhancement of the astronomical data archive in DARTS	2	指定なし not specified	大学3年以上 Junior or higher	Linuxの知識、Python等の言語によるプログラミングの経験が必要。 Knowledge in Linux and experience of programing in Python (or other languages) are required	10	8月24日 24/8/2026	9月4日 4/9/2026	10:30～18:45	可 Yes	宇宙科学研究所では、科学データアーカイブDARTS(https://darts.isas.jaxa.jp)から、JAXAの探査機・衛星が取得した高次データを公開するとともに、データ利用を促進するための様々なアプリケーションやツールを開発している。今回のインターンシップでは、DARTSから公開されている天文衛星データの科学品質を検証し、アプリケーションや解析ツールの適切な動作を確認する。新たな科学データを追加したり、新たなアプリケーション・ツールの開発に従事する可能性もある。 The Institute of Space and Astronautical Science (ISAS) publishes high-level data acquired by JAXA's probes and satellites from DARTS (https://darts.isas.jaxa.jp), while also developing various applications and tools to promote data utilisation. During this internship, you will verify the scientific quality of astronomical satellite data published via DARTS and confirm the appropriate operation of applications and analysis tools. There may also be opportunities to add new scientific data or engage in the development of new applications and tools.	天文学の基礎知識および天文データ解析の経験があることが望ましい。 実習は英語でも対応可能です。 Basic knowledge in astronomy and experience of astronomical data analysis desirable. English is also available as a working language.
J-8	有人宇宙技術部門 宇宙医学生物学研究グループ	オンライン	宇宙医学研究の動向調査	5～6	医学・歯学・薬学・医療系、生物系、人間工学系	修士1年以上、ただし、医学英語論文等を読み込める能力があれば学部生でも可とする	英語の医学系文献等を読むことに慣れている	10	8月3日	8月21日	9:30～17:45 (日本時間)	不可	他国の宇宙機関の宇宙医学研究の重点分野やその変遷についてHPや文献から調査する。またさらに発展的な実習内容としては、将来の月・火星探査 ミッションへの重点課題を洗い出し想定し研究テーマを提案する。 ・グループごとの課題取り組みです。	・実習期間は8月3日～7日、17日～21日の10日間とします (8/8（土）～8/16（日）を除く）。 ・医学系研究の研究アドミニストレーターや研究インテグレーター/コーディネーター/URA（University Research Administrator）に関心がある方も歓迎します。
J-9	有人宇宙技術部門 有人宇宙技術センター	筑波	有人支援ロボティクスの開発支援	2	指定なし	大学3年以上 高専4年以上	ロボティクスに関する知識が必須	10	8月17日	8月28日	9:30～17:45	可	JAXAでは有人支援ロボットとしてPORTS(Payload ORganization and TRansportation System)を開発中である。本インターンでは、開発中のPORTSの試験やトラブルシュート、運用文書の作成等、実際のプロジェクト開発を通じて、フライト品の実運用に役立つ支援をしていただく。	具体的な作業は開発スケジュールに依存するが、想定としては以下を考えている ・地上試験用セットアップ・データ取得・一時解析 ・運用シナリオ案の作成支援 発展的には、軌道上の異常シナリオの検討及び対処方法の検討等を期待する。
J-10	有人宇宙技術部門 事業推進部	筑波	法務面での低軌道・月面における有人宇宙活動に関する検討	最大3	指定なし	大学3年以上	宇宙は聞かないが、ISS協力協定や知的財産など法務面での議論・検討ができることが必須。	10	8月から9月中の10日間		9:30～17:45	可	インターンを実施する学生には、低軌道と月面の二つの領域を対象に法務面の検討を実施いただきます。低軌道については、JAXAが運営している「きぼう有償利用制度」に関する、海外とのサービス比較や映像を含む成果の権利帰属について調査いただきます。その結果を踏まえて、さらに利用しやすい「きぼう有償利用制度」を提案いただきます。月面については、22世紀の月面における人類活動を想像し、それにつながる法的課題をまとめていただきます。	本インターンの想定アウトプット（受入時に目標を確認し、変更の可能性あり）：調査結果、提案のレポート及び「きぼう有償利用制度」の広報パネル
J-11	第一宇宙技術部門 地球観測研究センター	筑波	EarthCARE観測データを用いた解析研究	2	理学系・工学系	修士1 年以上	プログラミングの知識が必須	10	8月～9月		9:30～17:45	可	雷エプロン放射計ミッションEarthCARE衛星に関する観測概要についての基礎知識を習得するとともに、実習においては、EarthCARE観測データを用いた解析を行い、JAXAにおける地球観測衛星データ解析業務の一環を実習する。なお、参加者の関心分野および保有スキルに応じて、実習内容を変更する 場合がある。	地球科学データの基礎知識及び地球科学データの解析経験があることが望ましい。
J-12	第一宇宙技術部門 事業推進部	筑波	見えにくい"地球観測衛星の意義価値"を見える化する ― 政策決定者と国民に向けた価値整理・発信提案 ―	2～4	指定なし	大学3年以上	パワーポイントによる資料作成やHPを活用した情報発信に関する知識・関心があることが望ましい	10	8月～9月		9:30～17:45	可	・JAXAが積極運用している地球観測衛星から取得できる情報や概念的に提供できる価値を整理・分析し、国の宇宙政策や予算・制度形成に携わる政策担当者に積極的に推進してもらえるような簡潔な説明稿速を検討する。 ・地球観測衛星の活動が、一般国民にどのように認知・理解されているかを分析し、現在の情報発信における課題と、より「高く」伝え方の改善方向を検討する。	実施期間は参加予定者と調整の上決定する。
J-13	第一宇宙技術部門 地球観測プログラム戦略室	筑波	地球観測エコシステムの運営支援	1	指定なし	指定なし		10	イベント開催がある8月または9月		9:30～17:45	可	底学官による連携活動を通じて、衛星地球観測が日本の成長産業となることなどを旨とする衛星地球観測コンソーシアム（CONSEO）会員（法人・有識者）が集まるイベントの調整の実施を手伝い、エコシステム形成におけるJAXAの役割を理解する https://earth.jaxa.jp/conseo/	
J-14	第一宇宙技術部門 地球観測プログラム戦略室	筑波	JAXAの地球観測プログラムに関連する国際協力事業の実施	1	指定なし	大学2年以上	英検準1級程度以上の英語力、MS Word、Excel、Power Pointでの文書編集ができること	5～10	8月17日	8月31日	9:30～17:45	可	JAXAの地球観測プログラムに関連する国際協力事業について、事業協力、協力相手、活動内容について理解していただく。そのうえで、JAXAの地球観測プログラムが定める戦略に基づき、協力活動が滞りなく、実施され、成果が最大となるように、国内外の関連事業に関する情報整理のやり方、協力事業の準備・運営支援をつうじた異文化コミュニケーションについて学んでいただく。	
J-15	第一宇宙技術部門 衛星測位システム技術ユニット	筑波	GNSS衛星の軌道時刻推定技術に関する研究	5	指定なし	大学1年以上 高専3年以上	パソコンの基本的な操作に加え、CUI (Character User Interface)による操作ができることが望ましい	5	候補1: 8/31-9/4 候補2: 9/7-9/11		9:30～17:45	可	JAXAの所有するGNSS衛星の軌道時刻推定ツール（MADOCA: https://ssl.tkscc.jaxa.jp/madoca/public/public_index_en.html）を用いて、GNSS監視所で取得した観測データをもとにGNSS衛星の軌道等を解析する手法を習得する。その後、参加者の興味や保有するスキルセットに応じて相談のうえ、個別の具体的なテーマを選択し、実データを用いた軌道解析や精密測位を体験する。	国土地理院が別途開催するインターンシップ（※）にも併せて参加することで、JAXAと国土地理院が共同で運営しているInternational GNSS Service (IGS)の解析センターに関する業務を包括的に体験することができます。なお、選考は各機関が独立して実施するため、両企業への参加が保証されるものではありません。 ※IGS解析センター-JGX業務（名称は変更される可能性があります）。詳細は以下のWEBサイトを参照。 https://www.gsi.go.jp/GSI/RECRUIT/internship.html
J-16	第一宇宙技術部門 衛星測位システム技術ユニット	筑波	MADOCA-PPPのユーザ測位ソフトウェアMALIBを活用した研究開発	3	理学系・工学系	大学3年以上 高専4年以上	必須：LinuxのCUIによる操作	10	8月24日	9月4日	9:30～17:45	可	高精度測位増強サービス「MADOCA-PPP」のユーザ測位ソフトウェア「MALIB」を用い、高精度準拠測位(MADOCA-PPP)を行う手法を習得する。その後、MADOCA-PPPを用いてクルーザーロボットの自動運転を行うためのパラメータチューニングおよび、デモンストレーションの構成検討を行う。	参加者全員が参加可能な日程で調整を行う
J-17	航空技術部門基礎技術研究ユニット Aviation Technology Directorate Fundamental Aeronautics Research Unit	調布（分室） Chofu(Branch)	大気突入技術に関する研究 Research on atmospheric entry	3	指定なし not specified	指定なし not specified		5	8月24日 24/08/2026	8月28日 28/08/2026	9:30～17:45	不可 No	大気突入時の環境を地上模擬する装置である、衝撃波管や軽ガス銃の運用に関わることで、その実験手法や原理を学び、大気突入技術に関する研究の一部を体験する。 Participants will learn the operational methods and principles of the shock tube and ballistic range, while experiencing research related to atmospheric entry technology.	実習は英語でも対応可能です。 English is also available as a working language.

◆実習は英語で行います/Internship themes listed will use English as working language.

No.	Dept. in charge	Filed centers	Theme	student capacity				Training days	Training period		Training hours	Flexible training start/end date	Program Overview	Other information you should know
					Major	Academic year	others		Start date	End date				
J-18	Space Technology Directorate 1, Satellite Navigation Unit	筑波	Building Low-Cost Local GNSS Correction Networks Using MALIB	5～6	Aerospace, Electrical, Telecommunications, Civil Engineering, Geospatial & Earth Sciences, or similar	MSc / PhD	Basic programming skills and familiarity with simple electronics and networking is necessary. Knowledge of GNSS is desirable.	10	20/7/2026	7/8/2026	9:30～17:45	Yes	Participants will be introduced to GNSS, augmentation and data processing with JAXA's program MALIB (https://github.com/JAXA-SNU/MALIB). They will get hands-on experience on how to deploy a GNSS base station, generate and stream correction data, evaluate correction quality and positioning performance. Finally, they will learn to design a scalable correction network and plan national or regional deployments.	The training period will be decided in coordination with the participants, and the dates will be adjusted to 10 consecutive days. Depending on the participants interests and background, application examples and case studies for network deployment might be tailored.